

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	36-003	
PDCA	事務事業名	環境対策事業	部課等名	水道部 上水道課 工務担当	担当 内線等	山本 493	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第3節 生活環境の向上					
		基本施策： 1. 水道					
		単位施策： (1) 水道の安定供給					
	根拠法令等	個別施策： ③自然エネルギーの有効活用					
D 前年度の活動結果と見られた成果	対象・目的	水道ビジョン					
	目的を達成するための手段・活動内容	老朽化した砂谷配水池の一部を高架型配水池に改築することにより、高台に配水するための増圧ポンプを廃止でき、省エネルギーと維持管理費の縮減が図れる。					
	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位		
C 課題の整理	活動結果	①高架型配水池建設工事	1	1	1	件	
		0					
		0					
		事業費	263,060	490,975	88,757	千円	
		人件費	5,718	6,345	3,748	千円	
		総事業費	268,778	497,320	92,505	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①					
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①増圧ポンプ施設数	実績値	6	5	3	か所
		目標値	6	5	3		
		②	実績値				
			目標値				
		③	実績値				
			目標値				
観点別評価	必要性	有効性		効率性			
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある	
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B 砂谷第3高架型配水池の運用を開始したことにより、吉田、深谷の増圧ポンプ場を停止し、残存する増圧ポンプ場の施設数を目標の3施設とした。一方で、新半田病院の移転に伴い、高区配水池から新病院への給水が現実のものとなった。基本計画には盛り込んでいなかった重要施設であり、限られた配水池の容量からも供給体制の確実な運用に努めていく。併せて配水のループ化や常滑市からの供給、もしくは深井戸の設置など、水源の二重化は不可避となる。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了 なし					
	令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
		廃止					